

津波避難等に関する 県民意識調査について

令和 7 年 8 月 7 日 (木)
宮崎県防災会議地震専門部会資料

調査概要

(1) 調査の目的

県民の地震や津波に対する防災の取組や避難行動等を把握し、今後の地震・津波対策等の参考とするもの

(2) 調査対象者

沿岸10市町(延岡市、門川町、日向市、都農町、川南町、高鍋町、新富町、宮崎市、日南市、串間市)の津波浸水想定区域及び隣接する区域に居住する18歳以上の県民7,000人(無作為抽出)

(3) 調査方法

調査票の配布:郵送

調査票の回収:郵送又はインターネット

(4) 調査期間

令和6年12月17日～令和7年1月17日

(5) 回収率

44.4%(回収3,108通／配布7,000通)

【参考】前回調査(平成30年度実施)の概要

○調査方法

調査票の配布及び回収:郵送

○調査期間

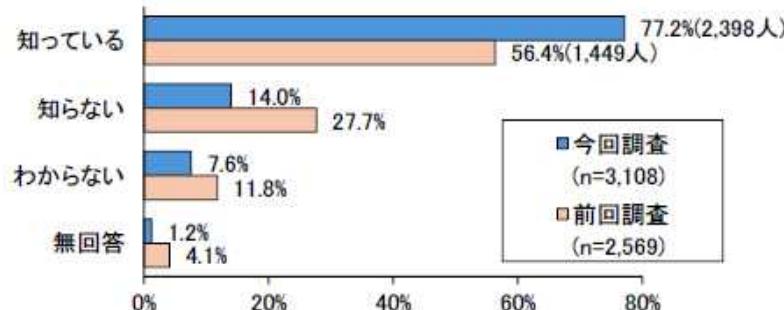
平成30年8月16日～平成30年9月7日

○回収率

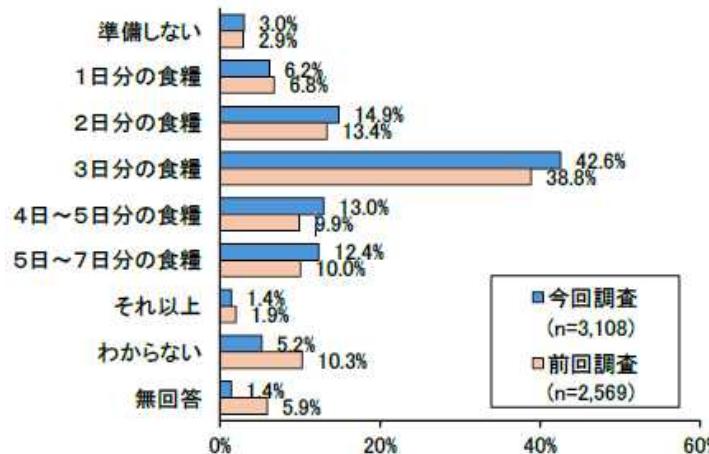
38.0%(回収2,569通／配布6,761通)

避難所・備蓄食糧について

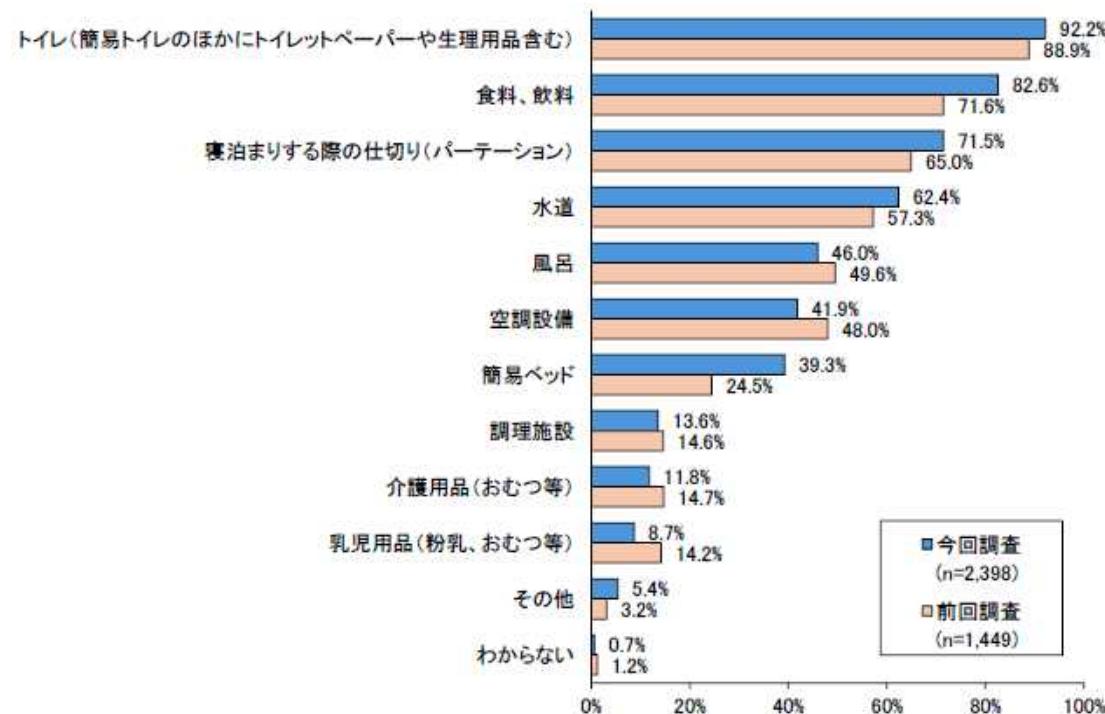
(問) あなたがお住まいの地域の避難所(一定の期間避難生活をする場)をご存じですか。



(問) あなたが避難所生活を余儀なくされたことを想定した場合、あなたならあらかじめ何日間の備蓄食糧（飲料水含む）を準備しておきますか。

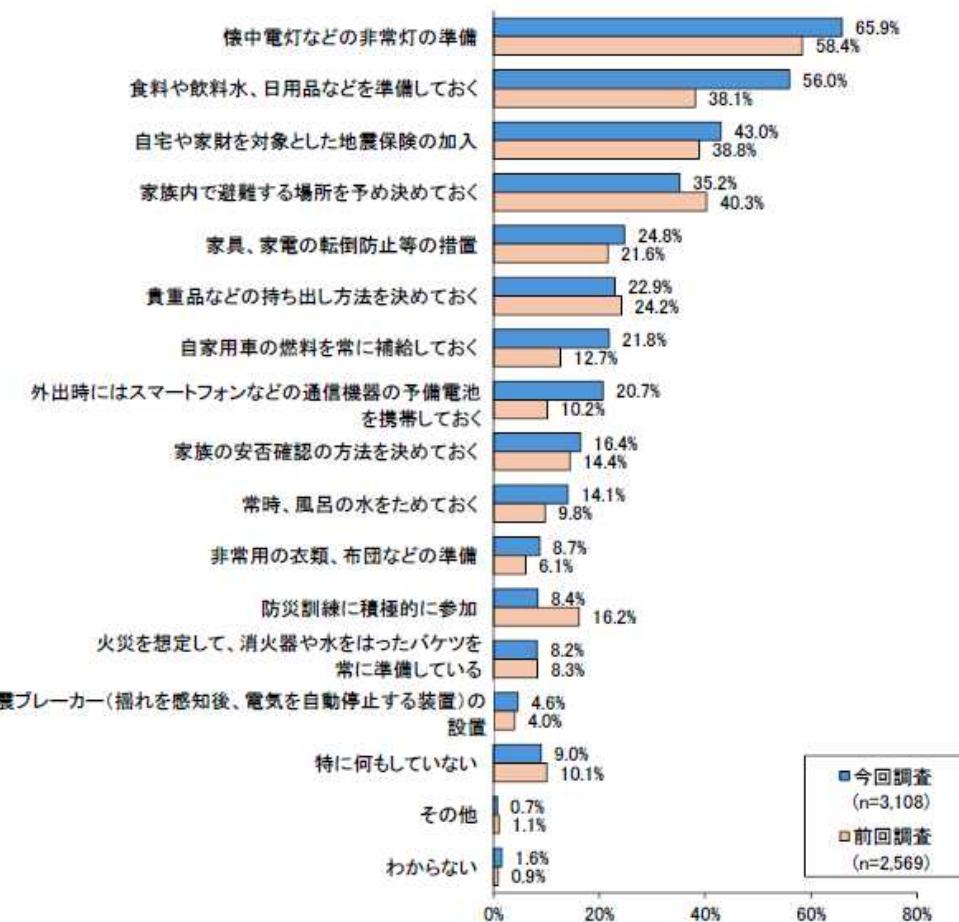


(問) (左記で「知っている」と答えた方に対し) あなたが避難所に一定期間避難しなくてはいけなくなった場合、共同生活する上で避難所に何を求めますか。
(複数回答可)

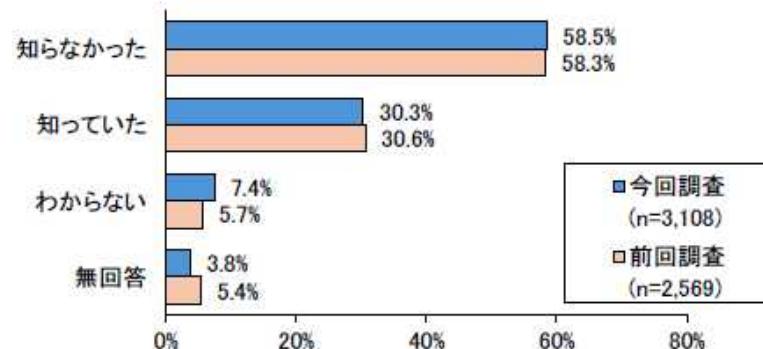


地震・津波への備えについて

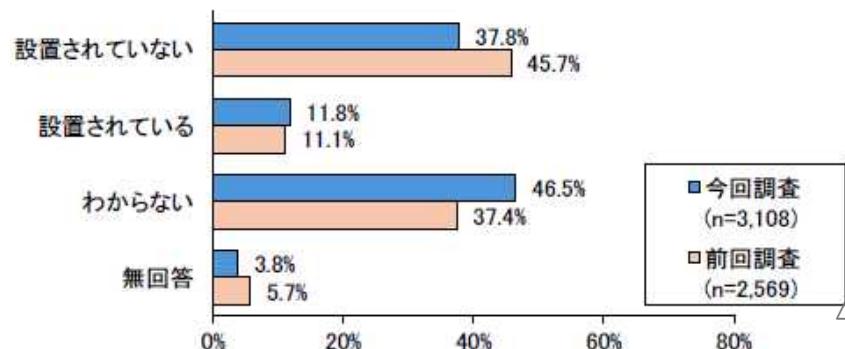
(問) あなたの家庭では、大地震が起こった場合に備えて、日頃よりどのような対策をとっていますか。
(複数回答可)



(問) 大地震の際に発生する火災の半数以上が電気関係による出火ですが、この対策として、電気のブレーカーを落として避難するか、大きな地震の際は自動的に電気を遮断してくれる「感震ブレーカー」を設置することが有効であることをご存じでしたか？

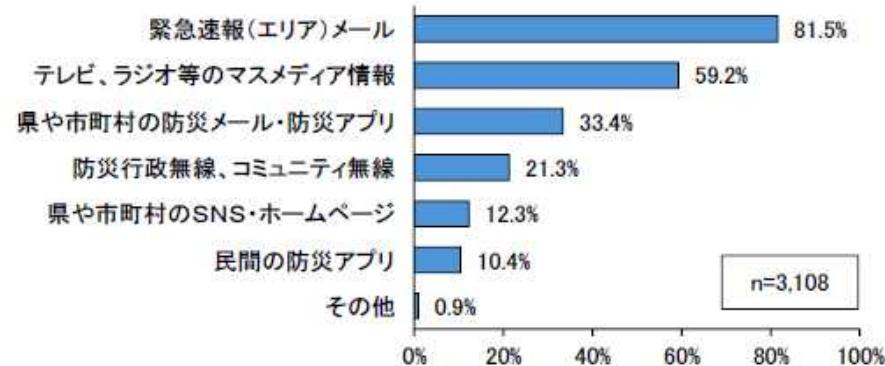


(問) あなたがお住まいの住宅には、「感震ブレーカー」が設置されていますか？

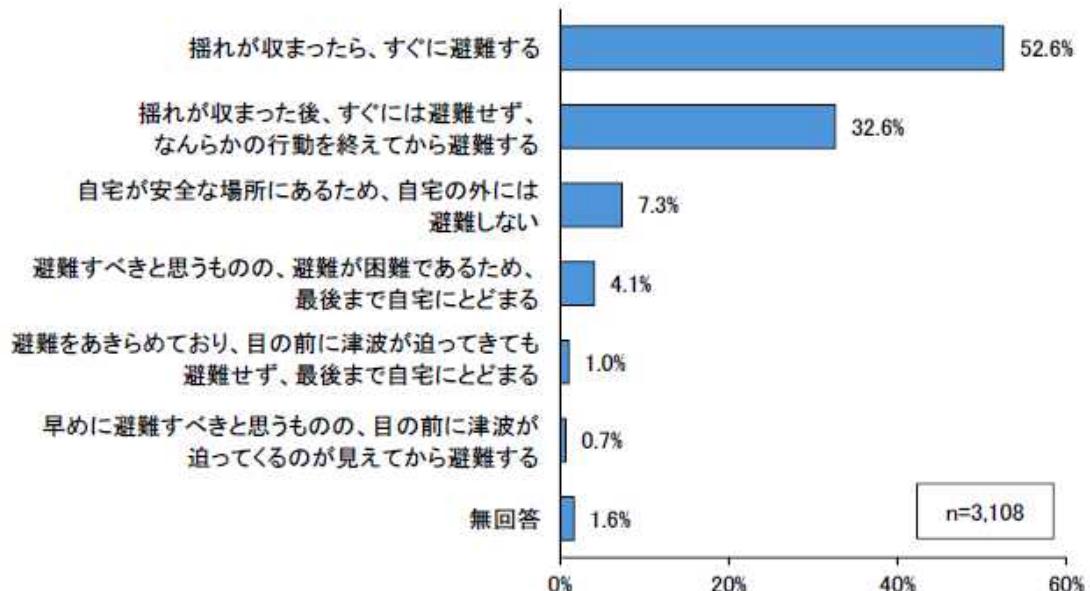


津波避難等の情報入手手段・日中の大地震への対処について

(問)あなたは、津波警報等（津波注意報、津波警報、大津波警報）の情報をどのような手段で入手していますか（入手すると思いますか）。（複数回答可）

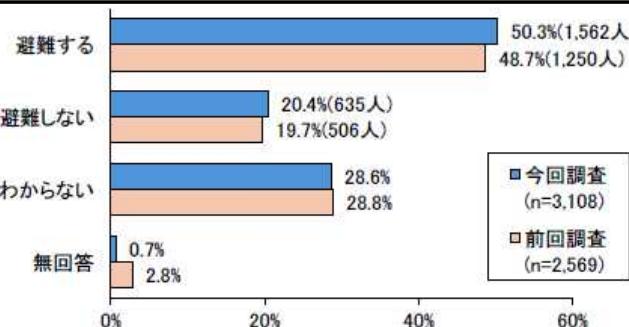


(問)ある日の昼間、あなたが自宅にいるとき、突然今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われました。揺れは約3分間続き、その最中に、自宅のある地域に大津波警報等が発表された（地震発生から約3分後）とします。このとき、あなた自身はどのような避難行動を取りますか。

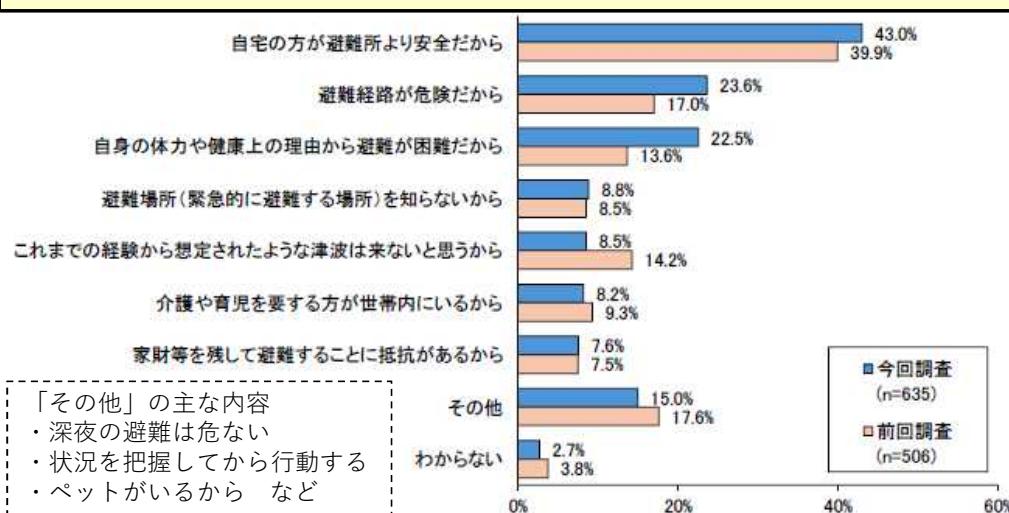


深夜の大地震への対処について

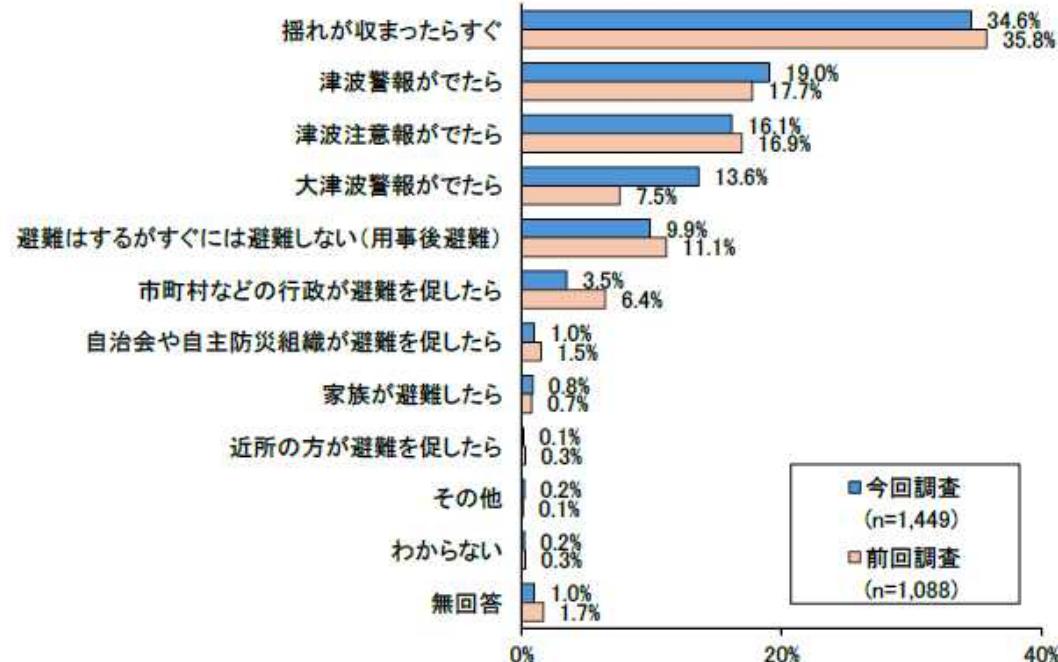
(問) 夜中、自宅で寝ていた際に突然、経験したことのないような地震に遭遇し、揺れが収まった後、あなたは避難しますか。



(問) (上記で「避難しない」と答えた方に対し) あなたが避難しない理由は何ですか？(複数回答可)

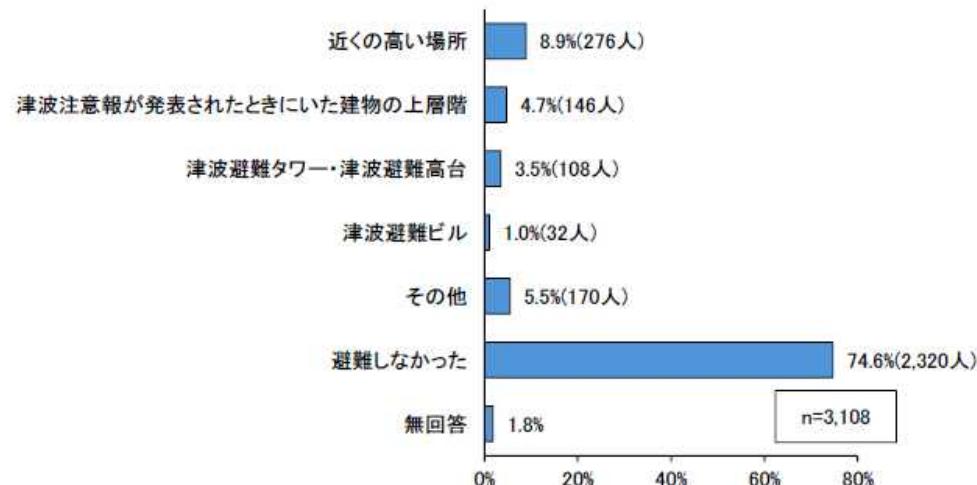


(問) (「避難する」と答え、その理由を「津波災害から身を守りたいから」と答えた方に対し) あなたは何をきっかけに避難行動を開始しますか？

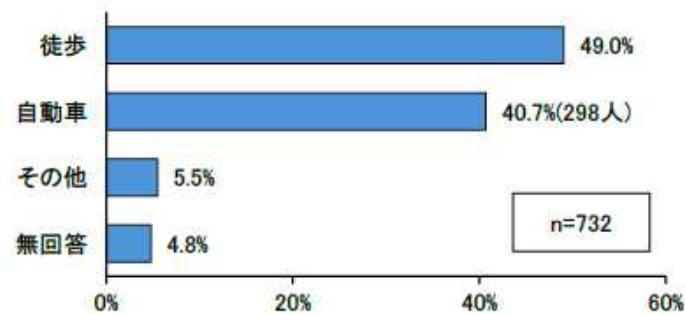


令和6年8月8日の地震（津波注意報）への対応について

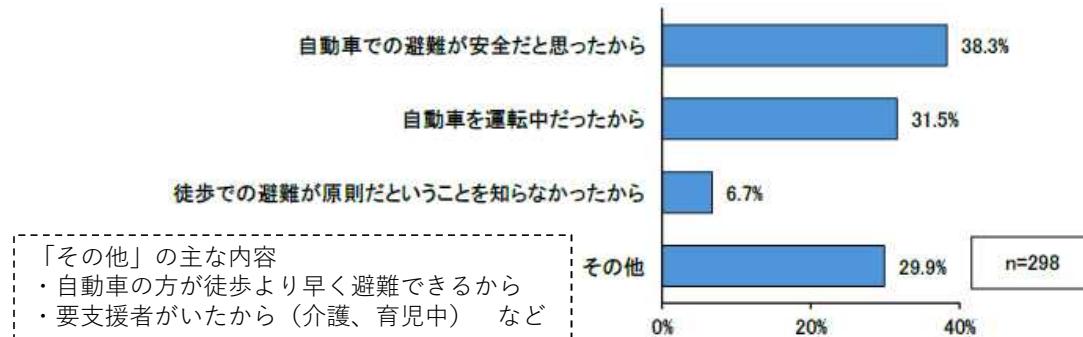
(問) あなたは、令和6年8月8日に日向灘の地震に伴い
津波注意報が発表されたとき、どこに避難しましたか？



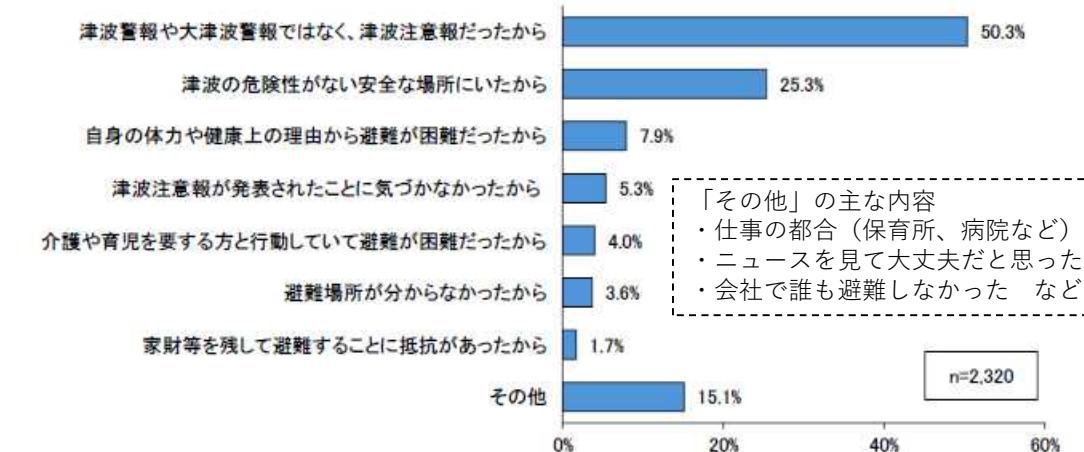
(問) (上記で「避難した」方に対し) あなたは、どの手段
で避難しましたか？



(問) (避難手段を「自動車」と答えた方に対し) あなたが
自動車で避難した理由は何ですか？（複数回答可）

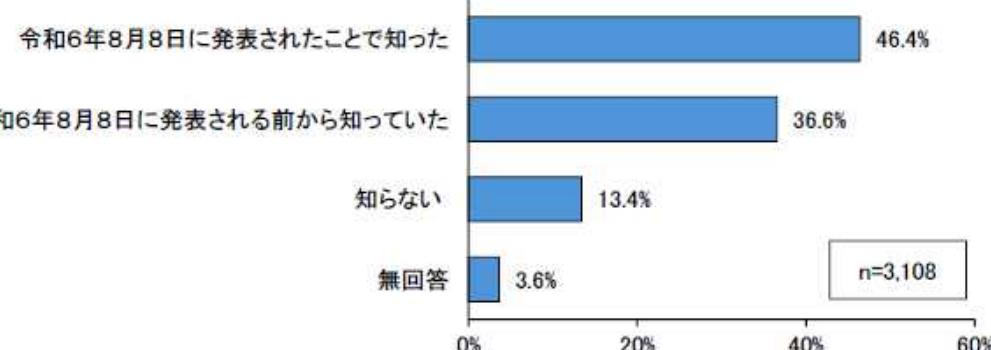


(問) (「避難しなかった」と答えた方に対し) あなたが避
難しなかった理由は何ですか？

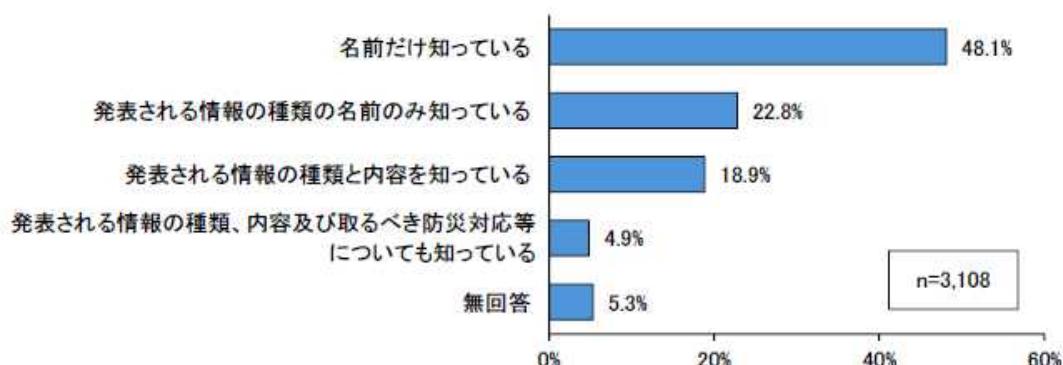


南海トラフ地震臨時情報について

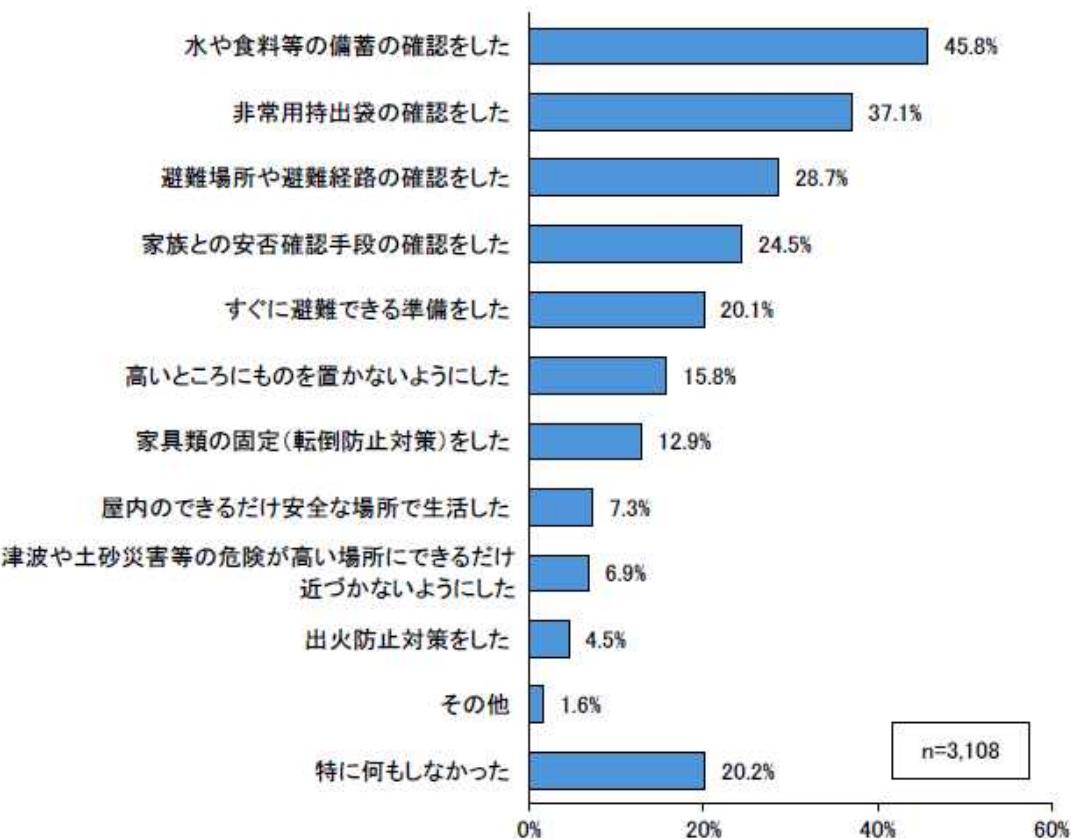
(問) あなたは、南海トラフ地震臨時情報について知っていますか？



(問) あなたは、南海トラフ地震臨時情報についてどの程度知っていますか？

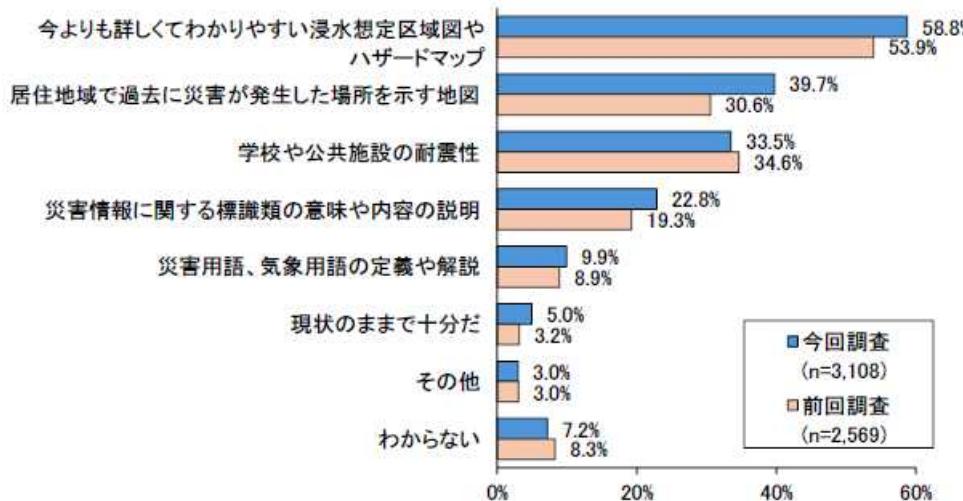


(問) あなたは、令和6年8月8日に発表された南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を受けて、どのような行動をとりましたか？（複数回答可）

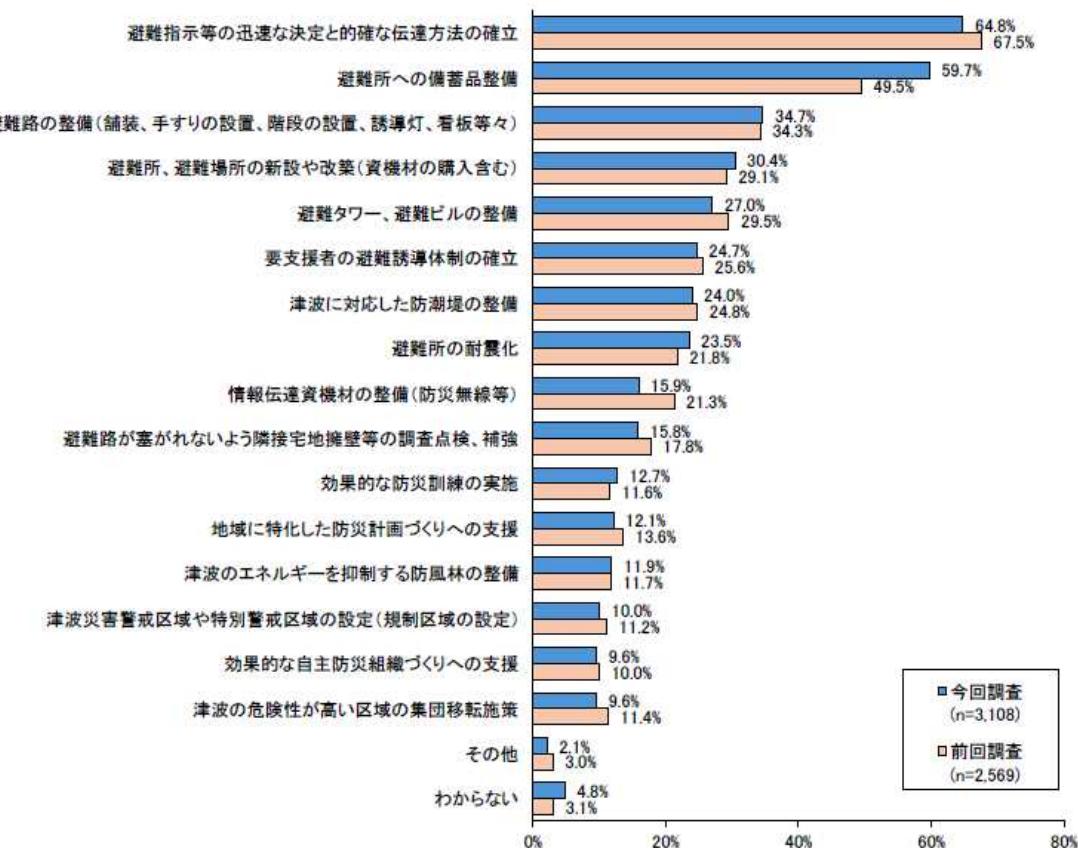


行政等の防災情報や津波対策について

(問) あなたがお住まいの地域の災害の危険性や災害対策について、普段から充実してほしい情報は何ですか。
(複数回答可)



(問) 津波被害が想定される区域への対策として、県、市町村に何を望みますか。(複数回答可)



分析・課題など

- 全体的に避難意識等について大きな傾向の変化は見られないものの、今回の津波浸水想定の見直しも一つの契機として、引き続き、地震や津波を「正しく恐れる」ために正確な知識や行動等について分かりやすく啓発を行っていく必要がある。
- 特に、昨年8月に初めて発表された南海トラフ地震臨時情報や徒步避難の原則（自動車を使用した津波避難のあり方）については、まだ十分には理解されていないため、様々な機会を捉えて周知・啓発を行っていく。
- 備蓄については、全体的に意識の高まりが見られる。引き続き、各主体における取組を促進する。